



～農業振興を通じて地域社会へ貢献～



10月29日・30日の2日間、「ふかがわアップルフェスタ2022」が開催され、真っ赤に実った旬のりんごを求めて沢山の人が訪れました♪

→記事の詳細は3ページ

JAきたそらちでは、ホームページ/Facebook/Instagram/YouTubeで、魅力満載の情報を発信中です!ぜひ、ご覧ください!



ホームページ



YouTube



Facebook



Instagram

JA_KITASORACHI

目次

- 「ライスランドふかがわ」
自販機でお米を24時間販売!・・・2
- JAきたそらち青年部
くるるの杜で農産物フェアを開催・・・5
- 元気村・夢の農村塾
京都の高校生が農業体験・・・・7
- 年末・年始 営業時間のお知らせ・・・・11

1市2町へ

令和4年産米の作況報告・新米贈呈



11月11日、柏木孝文組合長をはじめJA常勤役員が深川市・雨竜町・北竜町を訪問し、令和4年産米の作況報告と新米贈呈を行った。

深川市では、深川産新米「ふっくりんこ」5kg、「ゆめぴりか」5kgを手渡し、受け取った山下貴史深川市長は「今年は生産者の方が流した汗が報われる豊作の年となった。生産者の日々の努力に敬意を表したい。来年以降も、米どころ深川を盛り上げていきましょう。今年も贈呈いただきありがとうございます」とお礼を述べた。

柏木組合長は4年産米の作況について、「去年は干ばつ等に苦しめられた年だったが、今年は天候にも恵まれ、シラタ（成熟していないお米）や胴割れが少なく、品質の良いお米になっている」と報告した。



深川市



雨竜町



北竜町

販売部

「ライスランドふかがわ」

自販機でお米を24時間販売！

Instagram・Facebookでもご紹介♪

当JAでは、10月31日に新たな取り組みを開始した。

ここ数年間続いている新型コロナウイルスの影響で、非接触型での販売が可能な自動販売機が注目を浴びていることを受け、当JAではお米を中心とした農産物特化の自動販売機を設置した。

自動販売機は、深川市の道の駅「ライスランドふかがわ」に設置され、誰でも24時間お米を買うことが可能となる。また、当JA管内の農産物のイラストがプリントされ、目を引くデザインにもなっている。

販売開始当日より管内のお米「ふかがわまいゆめぴりか」「ふかがわまいふっくりんこパックご飯」「うりゅう米ななつぼし」「北竜町産はくちょうもち」などが販売されている。旬の農産物を販売するため、商品の内容は変更になる場合もあり、今後は幌加内町のそばも販売を予定している。

自動販売機でのお米販売について企画したJA販売部米穀課職員は、「道内では米に特化した自販機が珍しいことに着目し、構想から1年で実現することができた。24時間稼働の自販機で、きたそらちの農産物を広くPR出来れば嬉しく思う」と話す。



きたそらち産のお米をPR! 「JAきたそらちin十勝フェア」

販売部

11月5日、音更町の株式会社ハピオ・士幌町のAコープ士幌店アスポの2ヶ所で、「ふかがわまいふっくりんこ」の販促イベントを開催した。

当日はふかがわ米生産組合の伊藤裕美組合長を始めとする役員5名と、当JA職員2名が販売を行った。(株)ハピオでは5kgお買い上げでお米300g、Aコープ士幌店アスポでは5kgお買い上げで3号杓すくいどりなどプレゼント企画も行い、用意したふっくりんこ5kgを合わせて160袋を完売した。

各店舗で「和食にあうお米で、冷えても美味しいお米です！試しにふかがわまいふっくりんこを食べてみませんか？」など参加した役員が積極的に声がけと販売を行い、今まで「きたそらち産のお米」を知らなかった方にも興味を持って頂ける良い機会となった。

買い物に訪れた女性客は「はじめてふかがわまいを買ってみた。食べてみて美味しかったらまた買おうと思う。食べるのが楽しみ」と笑顔で話した。

今後も継続して販促のイベントを行う予定となっている。



ふかがわアップルフェスタ2022

青果部

10月29日、30日の2日間、深川市道の駅「ライスランドふかがわ」で「ふかがわアップルフェスタ2022」が開催された。このイベントは、毎年りんごが旬を迎えるこの時期に深川市果樹協会(田川大輔会長)が主催するイベント。開催にあたり昨年同様、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点により、恒例の「りんご詰め放題」や「りんご皮むき大会」などのイベントや試食販売を中止し、開催することとなった。また来場客にはマスクの着用やソーシャルディスタンスを呼び掛けた。

店頭には大人気の「紅将軍」の箱売りや市場流通の少ない「おいらせ」、黄色品種の「もりのかがやき」、「トキ」など14種類、約2,200商品のりんごが並び、来場客は販売担当に「甘い品種はどれですか?」「日持ちするりんごはどの品種ですか?」など、それぞれの特徴を聞きながら好みの種類を購入した。また、同時に開催されたりんごジュースやりんごジャムなどの加工品が当たるガラポン抽選会も人気を集めた。

深川産りんごは9月下旬から10月下旬をピークに、11月上旬まで収穫作業が行われた。今年は春先からの好天と適度な降雨もあり大玉傾向でスッキリとした味わいの年となった。そのため今年のアップルフェスタで販売されたりんごは例年に比べ増量しており、大人気品種の「紅将軍」も充分な量を確保できた。収穫されたりんごは、市内果樹園の直売所を中心に販売されている。

【青果部 植田】



深川特産「ねばり長芋」即売会

青果部

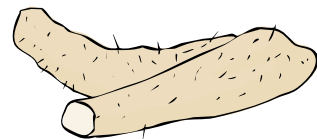
11月12日、13日の両日、青果部集荷施設や深川市道の駅「ライランドふかがわ」など、深川市内3か所で、同市特産「ねばり長芋」の即売会が開催された。

「ねばり長芋」は、強い粘りと甘みが特徴で、穫れたてを特価販売する同イベントには、開場前から長蛇の列を作るほど毎年多くの買い物が客が来る。今年も昨年、一昨年同様で新型コロナウイルス感染症対策として、来場客に整理券を配布して入場制限を行い、またマスクの着用や手指消毒、ソーシャルディスタンスを保つよう呼びかけた。

即売会では、4しや3しなど大きい規格を中心に販売し、来場客からは「この規格は何cmくらいのものが入っているか」「長持ちする保存方法を教えて欲しい」など即売会を対応した生産者やJA職員に聞きながら、好みの長芋が入ったケースを購入した。販売開始から30分ほどで完売する規格も出るほど今年も盛況を見せた。当日、美瑛町から来場した男性は、「深川の長芋は粘りがあって美味しいから毎年買いに来る。今年もいい出来だと聞いたので、帰ってから食べるのが楽しみ」と話す。

「ねばり長芋」は、きたそらち長いも生産組合（河合暢組合長）の組合員5戸が約2haに作付しており、今年は昨年よりも1週間遅く11月1日より同市MEM地区で掘り取り作業が始まった。また共選作業も11月5日より青果部集荷施設で始まり、道内の市場を中心に7,900ケースを出荷し1千7百万円の売り上げを見込む。

青果部の担当職員は「昨年度は高温と干ばつの影響で大変苦労したが、今年は適度に雨が降ったことと天候にも恵まれたことで病害虫の発生もなく、順調に生育が進み豊作傾向となった」と話す。



JAきたそらちスマート農業技術研究会 第2回調査研究を開催

農業振興部

JAきたそらちスマート農業技術研究会（原聡会長）が11月7日、JA本所にて「第2回調査研究」を開催し、会員および関係機関より11名が出席した。今回は、スペースアグリ株式会社の高瀬下降代表取締役を講師に招き、「人工衛星リモートセンシングを活用した可変施肥等の取り組みについて」をテーマとした講義を行った。

冒頭で原会長は、「昨今の肥料高騰により可変施肥については今後、活用が期待される技術であるため注目している」と挨拶した。

2時間程の講義では、リモートセンシングの仕組みや、各地区での取組状況、スペースアグリ株式会社のシステムを使用した生育マップ作成実演等のほか、宇宙事業に精通した高瀬下氏ならではの宇宙開発・人工衛星等、農業分野以外の内容も盛り込まれていた。

講義終了後、参加者からは実際のマップ作成に関する内容、システム利用手順等についての質疑応答が行われた。



JAきたそらち青年部

ホクレンくるるの杜で

「農産物フェア」開催

10月22日、ホクレンくるるの杜（北広島市）にてJAきたそらち青年部（村上勝彦部長）が「JAきたそらち農産物フェア」を開催し、部員15名が参加した。

今年度についても、新型コロナウイルス感染症対策を万全に講じた上での開催とし、深川産「ふつくりん」、雨竜産「ななつぼし」、北竜産「おぼろづき」の新米をはじめ、JAきたそらち産の野菜・果樹、幌加内そばなど多種多様な農産物を販売した。また購入客には青年部よりメッセージ付きファームレターを配布した。

当日は天候に恵まれ、来店者数も多く、商品の売れ行きが良かったこともあり終了時間を延長して販売を行い、きたそらちの農産物を十分にPRした。



JAきたそらち青年部

営農学習会・部員交流会

11月11日、JAきたそらち青年部（村上勝彦部長）が営農学習会と部員交流会をJA研修センターで開催し、8支部から部員計56名が参加した。

青年部による営農学習会および部員交流会は毎年開催されており、昨年に引き続き、今年も同会場で開催することとなった。

営農学習会では、空知農業改良普及センター北空知支所の須佐直地域第三係長が講師として、「水稻直播について」と題した講演を行った。須佐係長は講演の前段で、令和4年における水稻の生育について振り返り、気温や天候による影響や経過、水管理などについて説明。その後の講演では、北海道の主な水稻直播栽培方法やその工程、注意点などを説明し、また水稻直播品種「えみまる」について品種特性や栽培事例などについても説明した。

部員交流会では、恒例のミニバレーボール大会を実施。チームは各支部長をチームリーダーにし、その他の部員がくじ引きによって分けられ、支部混合チームとしてそれぞれ優勝を目指した。試合中には笑顔が多く見られ、普段交流する事がない部員と協力し、交流を深めながら競技を楽しんだ。幌加内支部長でもある村上部長率いる「チームムラカミ」が見事な連携を見せ優勝を勝ち取った。





女性部 だより

女性部北ブロック

「おもちゃかぼちゃのランタン作り」

J A北いぶき女性部とJ Aきたそらち女性部の各支部長が毎年行っている北ブロック女性部合同交流会が10月19日、J A北いぶき秩父別本所で行われ11名が参加した。

今回は、J A北いぶき秩父別より吉澤真由美氏を講師に迎え、「おもちゃかぼちゃのランタン作り」を行った。おもちゃかぼちゃはハロウィンの飾りとして北空知管内で多く作られている。

直径25cmほどのかぼちゃのツル側を拳が入る程度、専用のナイフで切り取り、スプーンやお玉で中身の種やワタなどを丁寧に取り出し、顔の部分については穴の小さい箇所から鼻・目・口と順番にくり抜く作業を行った。

各支部長は初めてのランタン作りで、一生懸命集中して作業を行い、最初は無言が続いたが、顔の部分に差し掛かるとスマホで画像を検索し合い「笑っている方が夜中驚かないかな?」「目が大きい方がライトアップの時に映えるよ」などと相談しながら完成させ、各々のランタンは個性溢れる仕上がりのなった。今回作ったランタンは、中に炎型のライトを入れて10日間程楽しむ事が出来る。

その後、J A北いぶき「ゆめぴりか」、J Aきたそらち「ふっくらんこ」の新米を持ち寄り昼食を兼ねて食べ比べを行い、それぞれの秋収穫作業について情報交換を行い交流を深めた。



女性部多度志支部

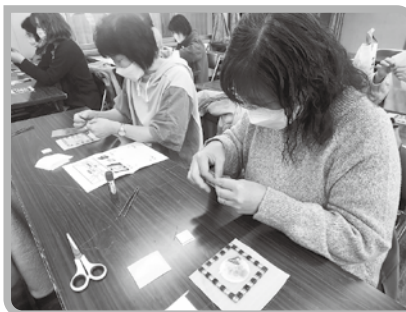
小樽で目帰り研修を実施

女性部多度志支部(佐々木美樹支部長が11月2日、目帰り研修を開催し、部員22名が参加した。今回は研修先に小樽を選び、押し花オルゴール制作体験や小樽運河探索を行った。

押し花オルゴール制作体験は、小樽市指定歴史的建造物第12号に指定されている旧小樽区公会堂の一室を会場として借りて実施した。小樽硝子工芸館より講師を招き、作り方の説明を受けた後、さっそく制作体験を開始。ガラスのオルゴールに押し花をデコレーションしてオリジナルのオルゴールを制作した。「花の量が多い(少ない)」、「配置が難しい」など悪戦苦闘しながらも、部員それぞれが、自分が一番と思えるような作品に仕上げた。制作したオルゴールを実際に鳴らし、心地よい音色を聞きながら公会堂庭園の綺麗な紅葉も楽しんだ。また制作体験で余った押し花を使い、押し花しおりも作った。

小樽運河の探索では、昔の面影を残す石造りの立ち並ぶ倉庫や工場など、港町の風情ある景色を楽しみながら、かつて倉庫として使われていた石造倉庫を再利用したイベントホールなどを見学。天候にも恵まれ、運河沿いの紅葉も楽しみながら散策した。

今回の研修では、暑かった夏作業の疲れを忘れるぐらい楽しみ、また部員同士の交流も深められる有意義な一日となった。【深川支所 正田】





元気村・夢の農村塾

京都の高校生が農業体験



10月27日、元気村・夢の農村塾（村上はるみ塾長）が、修学旅行で来道していた京都府立鴨沂（おうき）高等学校の2年生78名を農業体験として受け入れた。

元気村・夢の農村塾は平成14年に設立され、北空知管内の市町村の農業者などが協力し、道内外で農泊や農業体験を希望する学校を受け入れている。

この日は、深川市5件、沼田町5件、妹背牛町1件、北竜町1件の会員宅で受け入れを行った。

一已地区の神尾誠氏宅では、生徒4名を受け入れ、スターチスの採花・選花体験とジャガイモ掘り体験を行った。スターチスの採花ではハウスの中に入り、1本1本見極めながら採花を行った。初めはなかなかハサミを入れない様子だったが神尾さんのアドバイスを^ア受け、後半は楽しみながら採花を行っていた。ジャガイモ掘り体験では畑に^ツ鍬を入れ掘り起し、土の中から出てきたジャガイモに歓声を上げながら収穫していた。

参加した生徒は、「初めはどの花を採ればいいのか分からず困ったが、慣れてくるととても楽しい作業だった」と話す。

今回受け入れを行った神尾氏は、「知ることは興味の入り口。まずは見て、触れて農業や地域を知るきっかけとなってくれば」と話す。



総務部

JAきたそらち子ども向け食農教育事業 イペ・トイ・レシカ

～リンゴ狩り体験・クレープ作り編～



10月22日、今年度5回目となる当JAの食農教育事業イペ・トイ・レシカが行われ、子ども8名、塾生7名が参加した。

今回は、「リンゴ狩り体験・クレープ作り」と題し、深川市音江地区の「(株)藤谷果樹園（田川大輔代表取締役）」およびJA本所で実施した。

当日は、最初にJA本所で今回担当の塾生が同農園の概要や旬のリンゴ品種などを、スライドを使いながら説明し、その後、同農園に移動した。

同農園に到着後は、田川代表が今回収穫できる品種「HAC9」の特徴やリンゴの収穫方法を説明し、子どもたちからは、「おいしいリンゴをどうやって見分けて採るんですか」「リンゴの樹は植えてから何年くらい育てるのですか」など多くの質問が寄せられていた。その後、田川代表と塾生がサポートしながらリンゴ狩りを行い、子どもたちはサイズや色などを見分けながら、好みのものを収穫し体験を楽しんだ。

リンゴ狩り体験終了後は、本所に戻りクレープ作りを行った。職員が焼いたクレープ生地に、いちごやバナナ、リンゴのコンポートなどの果物や、同農園で製造販売しているリンゴジャム、生クリームやアイス、お菓子などを自由に楽しみながら盛り付けていた。

今回参加した子どもたちは、「おいしいリンゴを見分けて採るのは難しかったけど、今回も楽しかった」「クレープを自分で作ることは初めてだったけど、おいしく作れて満足」など笑顔で感想を話す。





深川市の商店街で トリックオアトリート!!

10月29日、深川市内の女性グループ「さんなすびーず」がハロウィーンにちなんだイベント「商店街を歩こう」を開催した。

企画したのは、脇田麻里子さん、三好真美さんの2人。

2人は、地域住民にJAのことをより知ってもらうため令和2年から行っているJAの事業、「地域農業応援団」の卒業生で、応援団を通じて「深川市をもっと盛り上げたい」「深川市の良さを子供たちにも知ってもらいたい」と、「さんなすびーず」を結成。

今回開催されたイベント「商店街を歩こう」では、市内の小学生ら約50人が様々な仮装姿で市内の中心商店街を練り歩いた。子供たちが「トリックオアトリート!」と声をあげると各店舗からお菓子などのプレゼントや、きたそらち果樹生産組合から協賛で提供されたリンゴが子どもたちに手渡された。

イベントを開催した「さんなすびーず」は、「深川商店街振興組合連合会や北空知信用金庫をふくめ、たくさんの方々のご協力に感謝です」と笑顔で話した。

【青果部 河原】



「JAきたそらち地域農業応援団」第4回 ～米粉のシフォンケーキ作り・リンゴの収穫～



10月25日、准組合員を対象にした交流活動「JAきたそらち地域農業応援団」の第4回が開催された。今回は団員15名が出席し、音江地区にある「アグリ工房まあぶ」と「(株)藤谷果樹園」でシフォンケーキ作りや、リンゴの収穫体験を行った。

今回は、アグリ工房まあぶにて地元で生産された米粉を使用したシフォンケーキ作りを行った。講師の説明を受けた後、団員二人一組で協力し、ふわふわのシフォンケーキを作った。



続いて、農業振興部営農企画課の佐藤舞依職員より『想いをひとつにかなえよう』と題し、JAきたそらちの女性部活動と女性大学の取り組みが紹介された。JA女性大学「カレッジあみていえ」については一般女性市民や女性農業者が参加しており、毎回楽しく真剣に授業を行う様子を写真付きで紹介し、4期生の参加を呼び掛けた。

昼食時には、「ななつぼし」「ふっくりんこ」「ゆめぴりか」の3品種の深川産新米を使った食べ比べクイズが行われ、それぞれの品種の特徴を楽しく学んだ。

さらに午後からは、(株)藤谷果樹園でリンゴの収穫体験が行われた。同園代表取締役の田川大輔氏より、栽培している品種や美味しいリンゴの見分け方などの説明を受けた後、リンゴ狩りを楽しんだ。



参加した団員は「米粉でシフォンケーキをつくるのは初めてだが上手にできて良かった。新米食べ比べは難しかった」、「収穫して良いリンゴの見分け方やもぎ方の説明が分かりやすかった。美味しそうなリンゴが沢山あって迷ったが楽しかった」などと感想を話す。



北竜町ひまわりライス生産組合・北竜町もち米生産組合

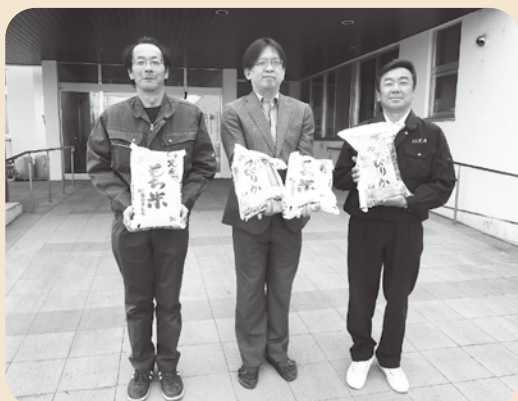
北竜町内福祉施設へ新米贈呈



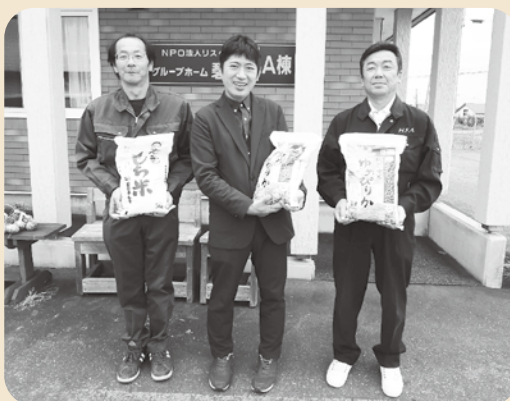
10月28日、北竜町ひまわりライス生産組合（北清直人組合長）と北竜町もち米生産組合（藤井明紀組合長）が、町内の特別養護老人ホーム永楽園と認知症高齢者グループホーム碧水に、「ゆめぴりか」と「風の子もち」の新米を合わせて160kg贈呈した。

両生産組合では地元産の新米を食べていただきたいと毎年贈呈しており、福祉施設の入居者に喜ばれている。当日は北清組合長と藤井組合長が施設を訪問し、「今年もおいしいお米ができました」と新米を手渡した。両施設からは「いつもありがとうございます。おいしくいただきます」とお礼の言葉をいただいた。

【北竜支所 鷺尾】



特別養護老人ホーム 北竜町永楽園



認知症高齢者グループホーム碧水

幌加内町うるち米生産組合・幌加内町もち米生産組合

幌加内町教育委員会へ新米贈呈



11月10日、幌加内町うるち米生産組合の畠山尚久組合長と、幌加内町もち米生産組合の古林茂組合長、中西博副組合長が同町の教育委員会へ「ゆめぴりか」と「きたゆきもち」の新米を30kgずつ贈呈した。

贈呈の際には、「今年は、平年と比べて収量が多く良かったです」と作況について報告し、子どもたちに幌加内町のお米を味わってもらいたいと村上雅之教育長に手渡した。

贈呈された新米は、同町の小・中学校、高校の給食で振舞われる。

【幌加内支所 岩本】



JA職員 農作業実習報告 第2回

先月号に引き続き、若年職員（採用2年目）を対象としたJA非常勤役員宅における農作業実習につきまして、各実習生の感想や今後の抱負をご報告させていただきます。

①実習先	②実習期間	③作業内容	④感想
金融共済部イチヤン本所 古川 そら （令和3年4月入組）			
①深川支所多度志地区 遠藤 良明 地区代表理事（農事組合法人米道産）		②令和4年7月25日～7月29日	
③田植え作業（苗箱洗い、苗箱整理）、ハウス解体作業 他			
④私は今回の農業実習で、花きの収穫やシャクヤクの管理などの作業を初めて体験しました。わからないことばかりでしたがやり方や注意点、見分けるポイントなどをとても丁寧に教えていただき、難しかったですがとても勉強になりました。 花きは、収穫できる花とできない花の見極め、選花では枝数や長さ、花のつき具合によって規格に影響するので判断することが難しく感じました。 その他にもシャクヤクの圃場管理では除草剤や機械作業で雑草を取ることができないため手作業で行いましたが、きれいになったところを見たことで普段では味わえない達成感を得ることができました。 実習先の皆さんにたくさん話しかけていただき、とても楽しく作業することが出来ました。この実習で知らなかったことをたくさん学ぶことができ、とても充実した5日間を過ごすことができました。ありがとうございました。			
			
経済部イチヤン給油所 清水 孝輝 （令和3年4月入組）			
①納内地区 岡田 徹 理事宅		②令和4年8月8日～8月10日	
③にんにく皮むき・選別、とうもろこし皮むき			
④今まで田植えなどの経験はありましたが、「にんにく」と「とうもろこし」の皮むきは初めてで、右も左もわからなかったのですが、周囲の方々が親切丁寧に教えてくれたお陰で、無事実習を終えることができました。 給油所では学べない技術を学ぶことができ、良い経験になりました。今回皮むき、選別させていただいた商品が道の駅で販売されることを知り、微力ながら多くの人の暮らしの役に立てることを実感し、達成感を感じました。 また、技術的な事だけでなく、組合員のこだわりや苦勞を知ることができ、実り多い時間を過ごすことができました。 この研修で学んだことを忘れず、日々の業務に活かしていきたいと思います。今回は貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。			
			

年末・年始 営業時間のお知らせ

金融店舗	12月28日(水)	12月29日(木)	12月30日(金)	12月31日(土)	1月1日(日)~ 1月3日(火)	1月4日(水)	1月5日(木)	1月6日(金)
	窓 口 ATM	窓 口 ATM	窓 口 ATM	窓 口 ATM		窓 口 ATM	窓 口 ATM	窓 口 ATM
金融共済イチヤン本所	通常 営業	通常 営業	通常 営業	休	休	通常 営業	通常 営業	通常 営業
金融共済音江支所								
金融共済深川支所								
金融共済納内支所								
金融共済多度志支所								
金融共済雨竜支所								
金融共済北竜支所								
北竜町COCOWA								
金融共済幌加内支所								

経済部燃料課 (給油所)	12月28日(水)	12月29日(木)	12月30日(金)	12月31日(土)	1月1日(日)	1月2日(月)~ 1月3日(火)	1月4日(水)	1月5日(木)	1月6日(金)
セルフ	通常 営業	通常 営業	通常 営業	9:00~15:00	休	9:00~15:00			通常 営業
音江									
深川									
イチヤン	通常 営業	通常 営業	通常 営業		休		9:00 ~ 15:00	9:00 ~ 15:00	通常 営業
納内									
多度志				休		休			
北竜									
幌加内									

※12月29日から1月5日はピット作業は休みとなります。

青果部 道の駅直売所eciR

休業 12月31日(土)~1月2日(月) ※通常営業時間は9:00から17:00となります。

みなさんのアイディアレシピ 大募集!!



みなさんのアイディアレシピを募集いたします。旬の食材を使った料理や時短料理、ご飯にあうおかずレシピなど、皆さんのオリジナルレシピをご応募下さい。採用された方には農協全国商品券をプレゼント致します。

<応募方法>

下記の内容をメールにてご応募ください!! (メール: info@ja-kitasorachi.com)

- ①氏名 (匿名希望の方はペンネームも記載下さい)
- ②住所・ご連絡先
- ③料理名
- ④作り方 (レシピ)、ポイント
- ⑤料理の出来上がり写真



<注意事項>

- ・必ずオリジナルのレシピをご応募ください。料理雑誌やサイトからの転載は禁止致します。
- ・ご応募いただいた料理のレシピ及び写真は、当広報誌に掲載しご紹介させていただきます。
また、お名前・地区名も合わせて掲載致します。(匿名希望の場合はペンネームもメールに記載下さい。)
- ・採用された方の個人情報(氏名・住所等)は、広報誌への掲載、景品の発送のみに使用致します。



国鉄時代におけるある出来事

前回の10月号では「3つの言わない」を話題にさせて頂きました。より良い風土づくりに向け、各人の主体性が問われていると思うからです。毎回こうして偉そうなことを言っておりますが「君はどうだ？」と逆に聞きたくなるのが人の常です。そこで他山の石として筆者のつたない体験談を例に話を進めます。私が国鉄に入社したのは昭和39年。日本の戦後復興を全世界に発信すべく東京オリピックが開催された年です。夢の新幹線が初お目見えした年のポツポツ屋への仲間入りで、周りからは「良い企業に勤めましたね」と言われ、両親も「将来は安泰」と安心した様子でした。それに比し私は、家庭の事情から大学進学を諦め、憧れていた教師の道を断念せざるを得ず、ふてくされてパチンコ三昧の毎日。やがて社会の不条理をどこかで感じ、いつしか労働組合運動にドブプリと浸かる私がいきました。でも人生何があるかわかりません。その熱心さが買われたのか、29歳で組合の推薦を受け新得町の議会議員へ。すると他の議員から「新得駅の接客の悪さはあなたが指導しているのだろう？」と随分と言われました。それに対し「組合活動と接客の悪さはイコールではない！」と真つ向から反論。ところがやがて頭を抱える羽目に。議会の視察があり、事前に「指定券が取れている」のを確認し駅に向かいました。ところが申し込みをしたのは7名であったにも関わらず、取れていたのは4名のみ。当然、窓口でどんぱちが始まります。その時の駅員曰く。「これしていない？ バカなことを言わないで下さい。取れているではないですか、4枚。それよりも、いるの、いないの？ キャンセル待ちで欲しい人が沢山いるのだから」。そのやりとりで啞然とし「親方日の丸」的体質を嫌というほど味わい、穴があったら入りたい。という心境になったものです。

接客悪戦奮闘記

視察後、「サービス業として恥ずかしい雰囲気は何とかしなければ」という思いから、私なりに目標を立て取り組むことにしました。当時の私は改札係。乗降客を案内するのが主な仕事です。まず改善を試みたのが電話の受け方です。これまで当たり前のように行っていた「はい、もし」を、「はい、国鉄新得駅でございます」に変えること。もう一つが列車の案内の際、「毎度、国鉄をご利用頂きまして有り難うございます」という感謝の言葉を添えることでした。とはいえ、職場における空気感を考えるとこれさえも容易なことではありません。でも何とかクリアし、その後、出札係に異動となり、ここでは「有り難うございます」を言うのを目標に据えしました。でも、この至極当たり前のことが出来ないのです。何故なら当時の国鉄は、公社というのにドンとあぐらをかき、「お客様がいて当たり前」で、それが「切符を売ってやる」という姿勢に結びつき顧客思考にはほど遠いものでした。そうした状況ですから「石田は改札であんなことをやった。出札では何をやるんだ？」。同僚間のそうした視線が背中突き刺さるような気がしてならないのです。そして出札係となり5日目。「もう言わなければ」と思っていた時、同級生のS君が乗車券を買いに訪れました。「ここですよ！ 言わなければ！」それは蚊のなくような、本当に小さな声だったかもしれないが、何とか言うことが出来ました。なんのことはない仕草なのですが40年ほど経った今でも鮮明に覚えています。この言葉を発する際、背中にツツと流れた冷や汗の感触を。当初は恥ずかしさ等から、小さな声での出発でしたが、繰り返す内に少しずつ普段の声の大きさに。そうしてよくみると、別に打ち合わせ等をしたわけではないのに、何人かの人が同じように感謝の言葉を伝えているではありませんか。「同僚の中に同様に問題意識を持っている人がいる」...そう感じるととても心強いも

のがあり、勇気もらい、そこから得た教訓の一つが「他人に委ねる前にまずは自分が」でした。

サービス向上を目指す仲間と共に

そのことに気づき行つたのは同僚との話しこみです。すると「お客様に支持される駅づくりを」という前向きな思いが強いを知りました。それを受けて同調する仲間を自宅に招き、何度か会食を重ね話し深めました。「接客向上について私が組合の会議で発案し考えてもらおう」と提案すると「いや、それはまずい。もし石田が表に立つたらお前が潰される。次期の議員だつてどうなるか？」と心配までしてくれました。紆余曲折を辿りながら次のような段取りを進めることになりました。「利用者の不満は残念ながら沢山ある。それならその人達に代わって、当番方式でもよいから、現実にもた苦情等を妻などに葉書に書いて投函してもらおう。そうすると駅長は全職員にそれを伝えなければならぬ。嫌でも皆が苦情を聞き意識をせざるを得なくなる」...そうして日頃、労使関係では敵として闘っている当局側を抱きこんでの作戦が始まりました。実は私もその裏で「日和見主義」といわれることを承知で、駅長には個人的な信頼関係を通し趣旨を小耳に入れ、それなりの根回しをしました。やがてどのくらい続いたでしょう。職場の雰囲気はジワジワと変わり始めたと感じた頃、くすぶっていた国鉄の分割民営化が現実になり、「誰が新会社に残るか？」という職員間での選択が始まりました。私自身も悩ましましたが、結局、これまで労働組合でリーダー的な役割を担ってきた者の責任として、あるいは「新得町では最も若い町議」という声に踊らされ、家庭を省みず活動してきたことなどでバツイチになったこともあり「『こ破算で願いましては』精神でやり直そう」と決断。不惑の年に転職をし、2年後の男の厄年に独立し今に至っています。そうして中小企業診断士の看板を掲げた直後、慣

れない営業ではありませんでしたが、数少ないつてを頼りにJR北海道本社に足を運びました。そこで目に飛びこんできたものがあります。「ポケット手、サンダル履きはやめましょう」という標語が壁に大きく貼り出されているのです。旧国鉄時代にはお客様がきて、ズボンのポケットに手を入れ、タバタとサンダル履きで近づき「お客さん、何か用事？」などの対応が当たり前。遅ればせながら「ようやくサービス業として『形から心へ』の人づくりが始まったな」と垣間見た思いをしたものです。

たかが資格・されど資格

これまでつたない私の体験談を語ってきました。この間、何度、「目標をあきらめよう」と思ったかわかりません。「でも、流されるのは嫌だ」……そうした私の思いもありましたが、それを拒む大きな力が心の内で働きました。それはある資格の取得に絡む話です。私が中小企業診断士（商業部門）の資格にチャレンジする過程で、全く商業体験のない自分をカバールしようと挑戦した「小売商検定（通称販売士）1級」に曲がりなりにも合格しておりました。今振り返ると、それが「お前がやらなければ」と、背中を押してくれたように感じます。この資格を取得していなかったら、確か、早晩、あきらめたに違いありません。販売士の資格を持つ者としての誇りと自負心が、「なにくそ！」「という思いを駆り立て、継続させてくれたように思うのです。ひと口に「能力」と言いますが、それは「知識・技能・態度」の3つから構成されています。ただ、どんなにこれらを有していたにしても、これは枝葉かもしれないません。それを支える幹がしっかりとなければなりません。それはプライドや

使命感、誇りなどの「バリュー（価値）レベル」といわれるものです。当時、私の中でその役割を果たしてくれたのが、今、考えるところの販売士の取得ではなかったかと思えます。「たかが資格、されど資格」です。それが一つのキャリアとなり、その後の私の資格人生に大きく繋がったのはいうまでもありません。

経験に勝る学習なし

キャリアということでもう一つ。議員になりとても役立った経験があります。労働組合でリーダー的な役割を担ったこともそうですが、それをきっかけに何かと地域の若者達と一緒に活動をしたことです。世間知らずの「組合バカにはなりたくない」という思いもあり、農業青年等も巻き込み、新得町では初の青年議会を開催し、住所をおいていた隣町十勝清水町では市街地青年会のトップになった折には、地域にある他の青年活動を行う団体にも働きかけ、教育委員会の後援を取り付け、青年大会を開催したことなどです。時間が経つのを忘れ、毎日のように侃侃諤諤と激論を交わし、その過程を通して様々な考え方に触れることも出来ました。お陰で半世紀を経過した今も、その時、口論をした農業青年の方から、美味しいミニトマトやカボチャなど貴重な収穫物が届いたりして、「良き縁を頂いた」と今更ながら感謝しきりの私です。

「自律型人材」を目指し

これら一連の体験を通じ学んだこと……それは「組織を変えるには職場を変えること、職場を変えるには自分を変えること」です。端的にいえば「自分が変わることが出発点」といえます。その為には貴JAの理念カ-

ドに記されている「自律創造型職員」……それを互いに自分のものにするということです。そこで問われるのが主体性です。仮に何か「職場で気に入らないことがあった」とします。その場合、気持ちの持ちようで、「不満」と「問題意識」に二分されます。「望む状態になっていない」のは同じなのですが、前者は「仕事的手段」で「自分本位」。「をしてくれない」という受身的なものが土台にあります。もう一方、後者は「仕事目的」（注：「働く」とは「傍を楽にする」となり、「自分が何ができるか？」が原点にあり、自己を組織や職場に拡大した中で物事を考えます。自律型として求められるのは後者です。そこで不満を感じた時の処理ですが、まずは「自分を素直に見つめてみる」と。そうして物事を「他人事」として捉えている自分「がいたら、それを問題意識に変えること」です。言葉を変えると、価値観を「仕事は手段」から「仕事は目的」へと変容するよう試みるのです。そうすることで、自分の内から動機付けを図ることになり、主体性を持った行動に繋がります。その為に大事なポイントが、精神面では「周囲の環境に流されないこと」、行動面では「自ら、働きかけること」です。この2つについて日頃から振り返ってみる癖をつけるようにしたいものです。そうするともしかすると今回のタイトルも次の方が正解かもしれません。

「自分が変われば職場が変わる。職場が変われば組織が変わる」

と。

組織や職場を変える主人公は私たち一人ひとりなのです。

【著者】石田邦雄（いしだくにお）氏

1946年北海道新得町生まれ。（有）石田コンサルタントオフィス代表取締役、めでの研究室主宰。国鉄、会計事務所を経て中小企業診断士として独立開業。

現在は社会保険労務士、キャリアコンサルタントとして、組織改革や人材育成に携わる。人と企業のマッチングを目指し、中小企業大学校を初めJAカレッジなど、多くの団体、企業と携わる。「教えるよりも考える」、「学ぶより気づく」を柱に、体験学習を交えたわかりやすい研修が特徴。著書に「産業力コンサルティング」や「縁を紡ぎ、人を育む」など多数。



高齢者の膝関節痛

みきた整形外科クリニック 院長 三木田

光



高齢者の愁訴の中で最も多い骨・関節疾患は、膝関節痛と腰痛と言われています。膝関節痛の原因としては、非炎症性疾患の「変形性膝関節症」、炎症性疾患の「関節リウマチ」・「痛風」・「偽痛風」・「感染性関節炎」などがあります。今回は、「変形性膝関節」について説明します。

変形性関節症は、中高年の多くが罹患する「ありふれた疾患」と言われています。病態は関節軟骨の変性・破壊と、それに続く変化としての関節辺縁や軟骨下骨における骨の増殖性変化が認められます。その症状として関節痛や関節水腫、可動域制限、変形などが現れます。単純X線像での関節裂隙狭小化、骨棘形成など認めます。頻度として女性に多く、X線変形性変化は60歳台で20～50%、その中で疼痛などの臨床症状を伴う頻度は60歳以降で10～18%とされています。診断は上記の臨床症状（疼痛、腫脹、可動域制限、変形）X線所見（裂隙狭小、骨棘、変形）関節液の性状からリウマチ・偽痛風・感染性関節炎を鑑別して判定します。治療は手術するより保存療法を行う頻度が多いです。保存療法として疼痛を抑えるために鎮痛剤投与、外用薬投与、生活指導（正座を控える、階段昇降を控える、杖をつく）、体重の減量、筋力強化（大腿四頭筋訓練、エアロバイク、水中歩行など）、装具（内反膝に足底板、支柱付きサポーター）、温熱治療（近赤外線、マイクロ波、ホットパック）ヒアルロン酸注射、ステロイド注射などを組み合わせて積極的に治療すると疼痛抑制、歩行能力の改善が認められます。保存療法で症状の改善が得られず、関節破壊が進行した患者さんには手術療法を選択します。比較的若い患者さんで関節軟骨変性が全面に及んでいない患者さんには内反膝変形に高位脛骨骨切り術、外反膝に大腿骨顆上部骨切り術。末期の変形性膝関節症で60～70歳以上であれば、人工膝単顆置換術（UKA）や人工膝関節全置換術（TKA）を行います。人工関節手術は、術後の満足度も高いため盛んに行われていますが、術中、術後合併症の危険性があり術前の内科的精査を行い、十分に患者さんに説明する必要があります。治療については整形外科でご相談ください。



金融共済部からのお知らせ

令和4年ウクライナ情勢・原油価格上昇等の影響 および新型コロナウイルスによる米価下落に対する 金融支援のお知らせ

①農林漁業セーフティネット資金（公庫資金）《新型コロナ特例》

※災害についての市町村長の罹災証明 不要

○借入期間：15年以内

○申込期限：令和5年3月31日迄（特例措置）

○借入限度額：【一般】1,200万円以内

【特認】年間経営費又は粗収益に相当する金額の
いずれか低い方の12/12以内

○利率：9年以内0.35%、9年超11年以内0.45%
11年超13年以内0.55% 13年超15年以内0.65%
（令和4年11月18日現在）

【貸付当初5年間実質無利子化措置】

○担保：実質無担保・無保証人措置

○その他：印紙税非課税措置

②農林漁業セーフティネット資金（公庫資金）

《ウクライナ情勢に伴う原油価格・物価高騰への特例》

※災害についての市町村長の罹災証明 不要

○借入期間：15年以内

○申込期限：令和5年3月31日迄（特例措置）

○借入限度額：【一般】600万円以内

【特認】年間経営費又は粗収益に相当する金額の
いずれか低い方の6/12以内

○利率：9年以内0.35%、9年超11年以内0.45%
11年超13年以内0.55% 13年超15年以内0.65%
（令和4年11月18日現在）

【貸付当初5年間実質無利子化措置】

○担保：実質無担保・無保証人措置

詳しくはお近くのJA窓口までお気軽にお問合せ下さい。



本 所 TEL 0164-34-7150 北 竜 支 所 TEL 0164-34-2280
雨 竜 支 所 TEL 0125-77-2331 幌 加 内 支 所 TEL 0165-35-2024

忘れていませんか? 相続登記!!

令和6年4月1日から、
「相続登記が義務化」
となります。



不動産登記推進イメージキャラクター「トウキツネ」

相続登記の申請に当たっては、以下の
サービスをご利用すると便利です。

1 司法書士会の「相続登記相談センター」

【常設】Tel 011-211-6665 平日の12時から15時まで

2 法務局の「登記手続案内」(平日8時30分から17時15分までの完全予約制)
原則、予約日時における電話対応となり、法務局職員からお電話いたし
ます。

申請書様式や必要な添付書類の種類等について御案内します。

※ 個別具体的な内容の相談については、上記の「相続登記
相談センター」を御利用ください。

札幌法務局・札幌司法書士会

農協法公布記念日にあたっての 組合員・役職員へのメッセージ

北海道農業協同組合中央会
代表理事会長 小野寺 俊 幸



昭和22年11月19日に農業協同組合法（農協法）が公布され、今年で75年を迎えました。

戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じ、「農業生産力の増進」と「農業者の経済的社会的地位の向上」を図り、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され、農協が設立されました。

農協は「農業者による農業者のための組織」であり、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立ち、相互扶助の精神のもと、幾多の困難な状況を乗り越え、組合員の皆様の営農と生活の安定並びにより良い地域社会の実現を目指し、今日に至っております。

一昨年より、新型コロナウイルスという今まで経験したことのないウイルスが世界的に感染拡大し、社会・経済にも大きな影響を与えておりますが、経済活動は徐々に日常を取り戻しつつあります。

しかしながら、農業分野においては長引くコロナ禍の影響による農畜産物の消費の低迷、飼料・肥料等生産資材の高騰により農業・JAを取り巻く環境は厳しさを増しております。

思い返すと世界規模での新型コロナウイルス感染拡大に伴い、マスクの需要が急激に増加しましたが、その大部分を海外からの輸入に頼っていたことから、国内は深刻なマスク不足に陥ってしまいました。

コロナ禍において、いくつかの国が食料の輸出を制限しました。幸いにも、それらの国から日本は食料を多く輸入していなかったため、今のところ大きな影響には至っておりませんが、何らかの問題が発生したとき、私たちの食料はどうになってしまうのか。私たちにとって大きな教訓となりました。

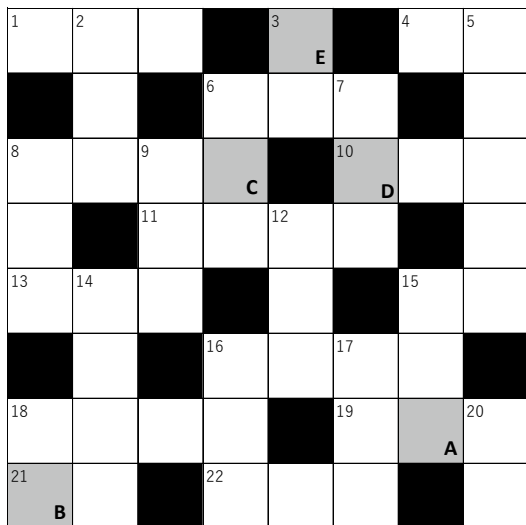
このことから、国民が必要とし消費する食料はできるだけその国で生産する「国消国産」という考え方は、消費者に知っていただきたい大切なテーマであり、1945年に国連食糧農業機関（FAO）が発足した日、さらに1981年に国連が「世界食料デー」に定めた日である10月16日を、「国消国産の日」として制定し、令和3年に日本記念日協会に登録しました。

今こそ、この国消国産の周知、さらにはJA北海道大会で確認された550万人サポーターづくりを推進するべく、JAグループ北海道が一体となって「アグリアクション北海道」と題した統一した取り組みをしっかりと実践することが必要となります。

最後になりますが、JAグループ北海道は、協同組合の理念と精神を事業の拠り所とし、今後とも組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJAの発展に全力でサポートすることをお誓い申し上げ、農協法公布記念日にあたってのメッセージと致します。

クロスワードクイズ

提供元:クロスワード.jp



A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

10月号の正解は

「カボチャ」でした。

正解者の中から抽選で3名が選ばれました。

深川市 上田美代子 様
北竜町 時永恵美子 様
北竜町 森 君子 様

【タテのカギ】

- 2 普通に並んでいる歯のわきに重なるように生えている歯。
- 3 筋肉の繊維。物事の道理。「牛〇〇」「〇〇を通す」
- 5 一日の仕事や授業の予定を割り当てること。その予定を書いた表
- 6 薬などを使って、体の感覚をまひさせること
- 7 周囲が回転している感覚。目がくらみ立っていらなくなること。
- 8 起こるかもしれないことに対して用意をしておくこと。
- 9 器具などに取り付ける金属製の付属品
- 12 世の中のありさま。社会の風潮、様子。
- 14 一定の時間内にできる仕事の量。仕事の進み具合。
- 15 自動車や自転車などのタイヤに穴があくこと。
- 16 前もって約束すること。「病院を〇〇〇する」
- 17 世の中のお金の流れ。「〇〇〇が良い・悪い」
- 18 つばさとかちばしを持ち、体が羽毛でおおわれている動物
- 20 物のなめらかな表面から出てくる光

【ヨコのカギ】

- 1 新しい草がよく生えるように、早春、枯草に火をつけて野を焼く事
- 4 料理・洗濯・掃除など家の仕事
- 6 真剣であるさま。真心のあるさま。誠実
- 8 顔面の皮膚に現れる褐色の小さな斑点
- 10 羊の肉
- 11 国内の政治「〇〇〇〇干渉」
- 13 絵を描くとき、色を付けるために塗る材料
- 15 フランスの首都。
- 16 伝えたい事がら。用事。「〇〇〇〇を伝える」
- 18 ニワトリなどを飼っておくための小屋
- 19 個数や年齢をたずねるときに使う言葉。どれだけ。
- 21 3.1415926...=円周〇〇
- 22 草と木。植物。

応募方法

正解者の中から抽選で3名様に農協全国商品券をプレゼント。ホームページ応募フォーム・ハガキ・FAXで①クイズの答え②住所、氏名、年齢③身近な出来事④農協だよりに対するご意見ご要望を記入の上ご応募下さい。

締切12月31日消印有効で当選者とクイズの答えは令和5年2月号に掲載します。

【送り先】〒074-0015 深川市深川町字メム10号線山3線5850番地

JAきたそらち農業振興部営農企画課

FAXの場合は 0164-22-1228

【ホームページ応募フォーム】URL: http://www.ja-kitasorachi.com/application_form/

※ご本人以外による応募は抽選の対象外とさせていただきます。

十一月俳句

● 雨電俳句会

栗ご飯釜で炊くほど香り良し
暮れなずむ刈田を照らす水銀灯
新米を喜ぶ姑の腰弱し
天高し猫背も少しまっすぐに
宅急便届く箱から鮭二匹

北川 満江

小山 邦男

松木 五月

宮武めぐみ

吉見サヨ子

● 「道」俳句会 北電支部

降る雪や亡父は田から山仕事
雄鹿の首が突きでて風過ぐる
雁渡し日がな見つむる山の色
括られてぐうの音もでぬ十日菊
異邦人ハローウインの子供達
福耳は父親ゆずり一葉落つ
夢いくつ拾って捨てて秋深し
バス降りて綿虫浮遊鬼ごっこ

山本 玲子

山岸 正俊

阿部れい子

吉尾 広子

山下 好晴

中島 雅子

宮脇美和子

佐藤美智子

● 土筆俳句会

夜明け雲垂れゐてすでに冬兆す
オーバーの白着て出づる茶房まで
小春日や光キラキラ若返る
ひらひらと落ち葉舞い落ち山も舞う
稽田や青きまほろば夢見んと
秋の山古代の人へ仲間入り
大通り真つ赤な楓立ち止まる
落ち葉踏み車椅子漕ぐ奥の道
ひらがなの向きが気になる文化祭

高尾美津子

池田 美知

山川 輝子

南川富美子

佐藤英三子

滝口富美子

菅原 優子

森田裕美子

小橋 厚子

第11回理事会 〈令和4年11月4日開催〉 以下の事項について決議・承認されました

1. 関係団体等諸会議について
2. 内部監査報告について
3. 組合員の加入脱退について
4. 財務報告及び事業実績について
5. 固定資産の取得・修繕・処分について
6. 令和4年度出資増口について
7. 職員の人事及び業務事故について
8. 令和4年12月営農懇談会の日程等について
9. 農業分野における女性参画への推進方策について
10. 貸出金の貸付報告について
11. 米の需給情勢と令和5年産「生産の目安」設定の方向性について
12. 自民党決議事項への取組の方向（案）の内容について
13. 米政策の推進状況について
14. 令和4年産 水稻の9.25現在における作柄状況について
15. 令和4年産 米集荷状況について
16. 令和4年産 農産物集荷状況について
17. 畜産物の販売実績について
18. 青果・花き集荷販売実績について
19. R4春期営農用軽油対策について
20. R4農薬予約奨励の支払いについて
21. R5温床資材の価格設定について
22. R5農薬・温床資材予約推進について
23. 経済部事業実績について

議案第1号 個人情報保護法等に基づく公表事項等の改正について

議案第2号 理事に対する貸出承認について

議案第3号 貸出金の貸付決定について



組合員の動き

(令和4年10月末日)

		当期首	加入	脱退	当月末
正組合員	個人	1,293	9	33	1,269
	団体	95	3	0	98
准組合員	個人	5,593	43	64	5,572
	団体	274	0	0	274
正組合員戸数		921	4	14	911



JAきたそらち太陽光発電所 発電実績

○令和4年10月実績

○累計 (R3.12~R4.10)

発電電力 **44,449kWh**

発電電力 **527,731kWh**

計画対比 + 14,107kWh

計画対比 + 127,182kWh

前年対比 + 1,775kWh

前年対比 △ 3,271kWh

金融共済部からのお知らせ

予定利率変動型年金共済が

スゴイ!!

JAの予定利率変動型年金共済

毎年8万円の共済掛金で、一定の要件を満たした場合、
税金が**6,800円軽減**されます!

※課税所得が195万円超330万円以下の場合 ※一定の要件を満たし、税制適格特約を付している場合

つまり1年で
6,800円

年率8.5%の 利息と同じことです!

●所得税・住民税 軽減される額の早見表 (年金共済の年間払込掛金合計額が8万円の場合)

課税所得	所得税 (4万円控除)		住民税 (2.8万円控除)		1年間の 節税額	節税額の累計			年率
	税率	節税額	税率	節税額		10年間	20年間	30年間	
195万円以下	5%	2,000円	10%	2,800円	4,800円	48,000円	96,000円	144,000円	6%
195万円超～330万円以下	10%	4,000円	10%	2,800円	6,800円	68,000円	136,000円	204,000円	8.5%
330万円超～695万円以下	20%	8,000円	10%	2,800円	10,800円	108,000円	216,000円	324,000円	13.5%
695万円超～900万円以下	23%	9,200円	10%	2,800円	12,000円	120,000円	240,000円	360,000円	15%
900万円超～1800万円以下	33%	13,200円	10%	2,800円	16,000円	160,000円	320,000円	480,000円	20%
1800万円超～4000万円以下	40%	16,000円	10%	2,800円	18,800円	188,000円	376,000円	564,000円	23.5%

JAの予定利率変動型
年金共済なら
最低保証予定利率が
設定されているから
安心です!



お問い合わせは

JA共済

JAきたそらち

本 所 TEL 0164-22-6619 多度志支所 TEL 0164-27-2111
音江支所 TEL 0164-25-1111 雨 竜 支 所 TEL 0125-77-2331
深川支所 TEL 0164-22-2171 北 竜 支 所 TEL 0164-34-2280
納内支所 TEL 0164-24-2211 幌加内支所 TEL 0165-35-2024

この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。
また契約の際には「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

[22010011034]

■発行/きたそらち農業協同組合 〒074-0015 北海道深川市深川町メム10号線山3線5850番地 TEL 0164 (22) 6600 FAX 0164 (22) 8611
http://www.ja-kitasorachi.com ■編集/農業振興部 営農企画課 ■印刷/株式会社 須田製版